事業所名

エミナ宮竹教室

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

14日

法人（事業所）理念		「一人ひとりのお子様とご家族に寄り添い、お子様の可能性を引き出す療育をめざす」										
支援方針		一人ひとりの可能性を伸ばす丁寧なサポート										
営業時間		8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	※要相談	
支援内容												
本人支援	健康・生活	セルフケアの確認活動（持ち物チェック、身だしなみ、整理整頓） 「1週間の生活リズム」ワーク（起床・就寝時間や食事記録を振り返り） 簡単な調理体験（おにぎり作り、卵焼き、インスタント調理のコツ） 自分の健康記録をつける活動（体調・気分・睡眠チェック）										
	運動・感覚	ストレッチやヨガによるリラクゼーション 小集団でのスポーツ活動 自分に合った感覚クールダウンの選択練習 感覚遊びの継続（例：スライム・粘土・温冷体験）による情緒安定										
	認知・行動	スケジュール管理練習（予定表作成、ToDoリストの使い方） 課題遂行トレーニング（時間内に終わらせる練習） 自分の行動を振り返るワーク（「〇〇ができた理由／できなかった理由」を考える） 状況判断力アップカードゲーム（「こんな時どうする？」思考練習）										
	言語 コミュニケーション	「気持ちの伝え方」SST（Iメッセージ、頼み方、断り方など） テーマトークやディスカッション（週替わりテーマで意見交換） ボードゲームでの会話練習（UNO、ナンジャモンジャなどルールのある遊び） ロールプレイ活動（レストラン店員役、友達への声かけ、進路面談の練習など）										
	人間関係 社会性	SSTによる場面別の練習（友達との距離感、メッセージのマナー、学校生活のやり取り） チームでの課題解決活動（脱出ゲーム・謎解き・共同制作など） 地域との交流活動・施設見学（職場体験に向けた第一歩） 「自分のいいところ」・「友達のいいところ」長所短所等の自意識の向上										
家族支援		① 情報提供とアセスメント ② 保護者カウンセリング・ペアレントトレーニング ③ 家庭との連携強化						移行支援	①学校卒業後、地域で本人らしく生活・就労・社会参加できるようにする ②本人と家族が「地域で生きていく」イメージを描き、必要な力を身につける。 ③地域資源や人とのつながりをつくる			
地域支援・地域連携		関係機関で役割分担を行うとともに、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常的な生活や支援に活用するための具体案を提案する。各機関協力のもと、連携会議を必要に応じて開催し情報収集と役割分担について協議する。						職員の質の向上	①事業所内研修・外部研修への派遣 ②療育方法・制度・5領域などにかかる読み合わせ等			
主な行事等		長期休み期間におけるおでかけ クリスマスなどの季節物の行事 お誕生日会										